

第3回 群馬県立都市公園指定管理者選定委員会 議事概要

日時：令和3年10月15日(金)
13時30分～16時00分
場所：群馬庁29階 第1特別会議室

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ：大塚都市計画課長
- 3 事務局説明：第2次審査方法の確認（資料1・2・3）
- 4 議事：申請団体によるプレゼンテーション・ヒアリング（第2次審査）
- 5 その他

○議事に関する主な質疑・議論

(1)「敷島パークマネジメントJV」プレゼンテーション・ヒアリング

(敷島パークマネジメントJVプレゼン) 略

(委員)

- ・事業計画について、非常に細かく良く記載しているが、この提案書の内容を共有化するにあたり、どのレベルまで共有化しているか。また、細かい内容を把握しているか。

(敷島パークマネジメントJV)

- ・園長、副園長、地域連携推進担当や、各課長、部会長、一般の従業員まで全体会議、全体講習会を定期的で開催し事業計画の内容の共有化を図っている。

(委員)

- ・スターバックスとの関係について、よく触れられているが、前橋市のとの関係についてどのように考えているか。

(敷島パークマネジメントJV)

- ・広報・広聴等にて、ホームページの全体的な改修を行い、前橋市が管理しているバラ園でのイベントやボート池周り、楽々園などの店舗営業情報を発信していきたいと考えている。

(委員)

- ・会議等は、リモート会議か、対面会議で行っているのか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・J V内部の会議については、リモートの場合もある、対面で行う際には、感染症対策を徹底し行っている。

(委員)

- ・県外からの利用促進とあるが、宿泊を伴うものか、日帰りを想定しているのか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・両方想定している。

(委員)

- ・宿泊を伴う時、宿泊の案内等について記述がないが、どう考えているか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・県外利用について、サッカー大会や陸上大会などにおいて、県外から試合で来ることを想定しており、宿泊等は、大会主催者側に対応いただいている。
- ・我々としては、公園の場所や利活用の案内という点で連携を行う考えである。

(委員)

- ・園内の巡回は具体的に、どれくらいの頻度で行っているか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・基本毎日実施している。朝と夕方、可能な場合は昼も実施している。

(委員)

- ・自主事業について、これまでの実施、これから新たに実施するものを伺いたい。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・これまでの実施は、スポーツ利用の促進、我々が主催者となつての大会開催など行ってきた。
- ・これからは、広く色々な方に園路利用をいただける公園づくりを目指そうというテーマで提案をしている。具体的には、早朝利用の促進、ナイターデーの開催などを提案している。

(委員)

- ・事業計画書の効果性に関する事項について、隠れた価値を発掘しなすと記載されているが、隠れた価値がどんなところにあるか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・今まで、夜間を上手く利用する行動的な取組がなかった。実際には、ジョギングをしている人など多くいることもあり、そういった夜間の利用に注目した取組みと園路を活用し、東京オリンピックで注目された、BMX、スケートボードを行う取組である。

(委員)

- ・周辺の自治会と連絡を密にされているとのことだが、夜間の活用について、騒音問題等があり、今まで出来なかったのではないかと考えられる。そのことについては、自治会と話をしているか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・自治会長より、夜が暗いという話をいただいている。より安心して通り抜けられる空間を創ろうと、カラーライトアップなどの取組を行いたいと考えている。

(委員)

- ・指定管理を10年以上にわたり行っているが、課題など感じることはあるか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・一つは、バリアフリーの面で、園路がボコボコであり、車椅子利用、足の悪い方に対し、不便であると感じている。広い整備は、我々では難しく、県と連携し、バリアフリーの推進を行っていきたい。
- ・もう一つは、前橋市と協同しての広報、案内について、更にわかりやすく行うことを課題認識としている。

(委員)

- ・3年間の収入見込について、何割程度の精度があるか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・コロナ情勢による、急なキャンセルがあると思うが、8割程度。

(委員)

- ・令和5年度において、前年度より大会利用者数が5,000人減、個人利用が12,000人増と記載されているが、個人利用はどのような人たちが利用し、利用者数をどう試算しているか。

(敷島パークマネジメントJV)

- ・令和5年度については、全国大会等が減る代わりに個人利用が増えると試算している。個人利用は、テニスの利用、水泳場の利用、補助陸上の利用者を個人利用としている。

(委員)

- ・SDGsのゴール7とゴール13について、具体的な事業をどう考えているか。

(敷島パークマネジメントJV)

- ・ゴール7について、具体的には夜間のナイター照明の、水泳場などの非常にコストがかかっている施設の省力、省エネに強化していきたい。
- ・ゴール13について、夏場に長雨が続き、芝生の管理、植物の管理に今までできたことが、出来なくなっており、安全面、スポーツパークの管理にてコストがかかっている状況である。

(委員)

- ・EMS（環境マネジメントシステム）の認証を受けているか。

(敷島パークマネジメントJV)

- ・株式会社オリエンタルコンサルタンツが認証を受けている。

(委員)

- ・小型気象計の配置ネットワークアプリ導入というのがあるが、前橋気象台が非常に近いが、設備投資をしなくても、情報提供を受けたものを渡せばよいのでは。設備投資に大きな意味があるのか。

(敷島パークマネジメントJV)

- ・ザスパクサツと県内企業との官民連携の側面があり、精巧な設定が出来ればよいと考えている。特に公式戦当日の天候変化をリアルタイムかつ敷島公園直上の天気を知りたいというニーズがあり、対応すべく計測器を管理事務所の屋上に設置できないかということから開始している。我々としては、広く公園利用者に情報

提供出来るものであって欲しいと考えている。

(委員)

- ・前橋气象台に話をし、何か細かく情報提供をいただく訳にはいかないのか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・今回そういったアプローチは実施していない。

(委員)

- ・できるだけ設備投資を少なくし、他の事業に回して頂ければと思う。

(委員)

- ・より効果的な運営の仕方を公園独自で考えるのはもちろん、広く調査を行うことも必要と思うが、何か行っているか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・全国の J リーグのスタジアム管理を行っている管理者との意見交換会に出席、同種の公園に視察に行ったりしている。

(委員)

- ・職場体験の受け入れと記載があるが、年間どれくらい受け入れを行っているか。

(敷島パークマネジメント J V)

- ・市内の小中学校から職場体験の希望をいただいている。特に問題等なければ年間 50 人から 80 人位受け持っている。

(委員)

- ・利用する子どもたちが、経験をすれば、利用者として来園することもあると思う。

(2) 敷島パークマネジメント J V に関する意見交換

(委員)

- ・多数いれば、その中から 1 者決めるということだが、応募が 1 者なので指定管理を任せて良いかの判断となる。そこで意見交換というより、どんな印象だったかということを委員の方からいただきたい。

(委員)

- ・収益に関して、企業も含めほとんどの経営計画は前年比何パーセント増となっている。それによって経営が苦しくなると、非正規とかどこかにしわ寄せされる。実情に合わせた無理のないものでもよいのではないか。

(委員)

- ・実績もあり、今後の利用者増加策など工夫を行う姿勢が見られ大変良いと感じる。夜間の敷島公園は暗いと思っており、そういうところで何か色々工夫、発信、対応してくれる期待が持てる。

(委員)

- ・公園とSDGsの関係が非常にわかりづらい。温暖化と結びつけている説明があったが、もう少し直接的な取り組み方があるのではないかと感じた。
- ・個人利用の促進について、わかりづらい部分があった。

(委員)

- ・インターシップ、職場体験の受け入れ等、地域との連携について、つながりが濃くなってきていると感じた。
- ・申請書の作成も細かく記載されているが、この3年間でどういう道筋で行うか、重点目標が何かなど、行動計画が盛り沢山であり、実際に行う場合にはどうなのかと感じた。
- ・夜間のライトアップなど他の公園でも実施しているので、事例を拾ってきてもいいのではという印象を受けた。
- ・個人の利用が今後重要になってくると思う。

(委員)

- ・申請書の作成が上手であり、プレゼンにおいても特に難点無く非常に良く説明されているが、計画において、どの程度実施されているかわかりづらい。評価委員会の評価ではどうなっているのか。

(委員)

- ・評価委員会では、現地に2回行き、具体的にチェックリスト、実際に目で見て判断をしている。その都度、改善すべきことについても意見交換を行い、改善事項についても真摯に対応している。

(委員)

- ・感心したのは、課題があるかと聞いた際、即座に二つあげることが出来るというのは、しっかり理解して管理を行っているからだと思った、管理料は県予算の100%を計画しているのか。

(事務局)

- ・上限額よりも45,000円低く申請を行っている。

(委員)

- ・予算内で、しっかり管理して頂ければ問題無いと思う。

(委員)

- ・課題として、どうしても渋滞が緩和されないなど駐車場の問題を感じる。
- ・スターバックスがあることで、一般の利用者が増えていると思うが、一般の利用者がどの程度増えているか、そこをいかに増やすかということにスポットを当てて、考えていただきたい。実際には、スポーツ団体は敷島しかないということが現実としてあり、一般利用客に力をいれて考えた方が良いと感じた。

(委員)

- ・スポーツ公園の会場としては、実績・提案とともに、S評価と思う。
- ・SDGsについては付け焼き刃な感じがした。気候変動やクリーンエネルギーについて、グリーン電力の調達の話、公園でのCO2吸収量と、施設のCO2排出量を比較して、「プラスマイナスゼロにもっていきます。」或いは、「マイナスに大きく変えていきます。」などの提案が欲しかった。

(委員)

- ・これから公園を利用する人達や、人の流れなどが変化していくと思う。そういうデータを集計することによって、次の改善目標に出てくると思う。SDGsについても、意識をしてくださいという意味が一番強かった。
- ・10年やっていて、可も無く不可も無くなく、相当努力して、良い公園にしていると思う。評価委員会にて、公園管理者として、しっかり公園を管理していることが委員全体の意見である。

(委員)

- ・本日の意見について、仮に選定された場合、先方に伝えて頂きたいと思います。

(事務局)

- ・了解した。

(3)「山梅・ケービックスグループ」プレゼンテーション・ヒアリング

(山梅・ケービックスグループ プレゼン) 略

(委員)

- ・過去15年管理をされているが、この15年間で学ぶことがあったか。これは、御社の業務を含め指定管理業務から学ぶべき事があったかお聞きしたい。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・代表会社の本業が、建設業を主であり、利用サービスを行う部分で違いを感じている。利用者がより安全に利用出来るようアイデアを考えなければならないことなどが、建設業の観点からでは難しく感じることもあり、勉強になっている。

(委員)

- ・これまでの指定管理期間3年間から5年になるが、5年を見据えたとき基本的な考え方、3年と違うところがあればお聞きしたい。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・未開拓地を活用してのトレッキングコースなど計画している。3年間では中途半端な整備となってしまうが、5年間だと整備することが可能であると考えている。

(委員)

- ・細かいことだが、子供が中心となる公園なので、多言語標示やピクトグラムなどで工夫をすると明るく賑やかになるのではないかと感じる。

(委員)

- ・スタッフの8割以上が高齢者になっている。それに伴い使用道具も電動化、電動アシストを導入するなど身体的負担がないように工夫をしていることもあるが、年齢の限界はある。人材養成、人材確保についてどのような計画を立てているのか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・今働いている方々が紹介をしていただき、採用を行っている。色々な不特定の人

より信頼のおける人を紹介していただく形で採用を行っている。高齢者になると、体調が悪くなる方もいるが、皆まだまだ元気ということで、セカンドライフを充実していただいていると思う。

(委員)

- ・当面それで、上手くいきそうかどうか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・15年間、このスタイルでやっている。スタッフからも良い評価を受けている。

(委員)

- ・多言化の取組で、館内で通訳機を導入するとあるが、土地柄外国の方が多と思うが、比率はどれくらいか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・現在は、3～4割以上だと思う。
- ・通訳機も3台ほど導入しており、どれが一番良いか試作を行っている。

(委員)

- ・大変良い取組だと思う。
- ・駐車場改革について、提供、確保していくなどの計画段階だが実現可能性としてはどのくらいか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・現在、臨時駐車場として220台位確保出来ている。

(委員)

- ・前回、駐車場の状況を配信すること行いたいと提案していたが。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・ホームページ上で、駐車場状況は確認出来るようにしている。

(委員)

- ・多様化する公園のニーズ対応ということで、ペット同伴について、条件付きで導入したいとあるが、ペット好きの人は良いが、嫌いな人もいる。どういう条件を付けようとしているのか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・わんぱく広場にて仕切りを設置し、そこで触れあえるエリアを設けようと考えている。利用者のアンケートでも公園の中で散歩、放したいという意見もあり調整していくことの一環としている。

(委員)

- ・駐車場問題について、シャトルバスの検討とあるが相当ハードルが高いと感じる。渋滞している中では、シャトルバスが動けなくなってしまう。しっかり検討しなければならないと思うが。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・これまでは、入り口で駐車整理を行っており、逆に渋滞を作っていた。今は、歩行者の誘導を主体で行っており、満車の場合、帰られる方がいるため基本的には頭打ちになる。その状態を今は作れていると思う。

(委員)

- ・金山側の駐車場利用とかは検討しないか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・現在、新型コロナウイルス感染症対策、園内に猪の侵入を防ぐためにも出入り口を1箇所に行っている。金山側の駐車場を利用するには、山道からの出入りを行う必要があるため、慎重に考えていきたいと思う。

(委員)

- ・来園者増加について、少子高齢化で子供が減っていくなか、高齢者なども魅力を感じる様な企画があるか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・健康遊具の導入を計画している。平日利用者は高齢の方が多く、楽しめるような企画をとり入れるよう計画をしたい。

(委員)

- ・運営協議会について、高齢の方が役員となっている団体が多いが、違う団体、子育て中の若い方のNPOなどの団体に参加していただかないと、良い意見は出ないのではないか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・現在、社会福祉関係の団体を運営協議会へ参加していただくよう県と調整を行っている。その中でご意見をいただけるように進めている。

(委員)

- ・「その他提案事項」の「森林・里山生態系の拡充と猛禽類相の営巣」は大変良い提案と思うが、数値的な管理目標は設定しているか。また、専門家の助言等を受けているか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・野鳥の森の方々にボランティアとして関わっていただいているおり、アドバイスをいただいている。

(委員)

- ・中高生、大学生達の学習プログラムの場合として活用出来るのではないかとと思うが、何かプログラムを出しているのか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・具体的には、行っていないが、現在学生のボランティアが多く、グリーンパートナーとして参加していただいている。今後は、環境教育の場、さらには幼児の子供たちとのふれあう企画などを変えていきたい。

(委員)

- ・出来れば、東の金山、西のK F Pで環境と歴史を扱う学習プログラムが開発連携されると本当の意味で良いと思う。

(委員)

- ・開園30年経過しているが、施設の老朽化により問題が生じていると思うが、直近で修繕を行いたい施設があるか。

(山梅・ケービックスグループ)

- ・こどもの国の目玉は、多様の遊具であり、順次更新を行っていないと遊べる遊具がなくなると感じている。

(5) 金山総合公園に関する意見交換

(委員)

- ・ 多数いれば、その中から1者決めるということだが、応募が1者なので指定管理を任せて良いかの判断となる。そこで意見交換というより、どんな印象だったかということを委員の方からいただきたい。

(委員)

- ・ ベースの部分はとても良くなっている。消極的な感じがしたので、金山本体、KFPなどと連携に力を入れて頂きたい。積極性を持たせるには東毛全域の子どもたち、あるいは多様な世代にとって、教育の場としての公園という位置づけをしても良いと感じた。

(委員)

- ・ 山を含めた公園であり、面積が大きい。集客力より、安全管理において重きにおいて管理を行ったほうが良いのではと感じた。

(委員)

- ・ 管理経験が長いこともあり、よく状況を把握している。子どもたちが楽しく走り回っている姿が浮かぶ、良い企画提案がなされている。
- ・ 駐車場問題についても、できる限り解決方法を考えている努力は見受けられる。その姿勢は評価出来る。
- ・ 遊具の老朽化について、ノウハウは持っていると思うので、十分点検等おこなっていただき、おまかせしても、心配ないと感じた。

(委員)

- ・ 開園以来、駐車場問題があり、これまでに駐車台数を確保してもあふれている。指定管理者だけでは対応が難しいと思う。そういう意味ではよくやっていると思う。
- ・ こども国の中だけでは、スケールが小さいと思う。金山総合公園という名前なので、金山城を含めた大きいスケールで公園のイメージを作ってもらいたい。上手く県と市と連携を図ってもらいたい。

(委員)

- ・ 出来る範囲で指定管理者として、色々工夫されていると思う。自然ふれあいゾーンの整備や生態系を重視した取組があり、これからも期待できる感じた。

(委員)

- ・公園内で生態系ができたとのことだが、5か年計画なので日本自然保護協会の研修を受け入れられるようなレベルを目指してほしい。
- ・都市公園の利用者の中には生態系が豊かになることで、虫刺されなど害を受けるとする人もいる。そういう人達に対して、区域を分ける、自然の良さを教えていく、或いは少し我慢することなど、自然との共生とはどういうものか、しっかり伝えるという難しい課題が出てくると思う。

(委員)

- ・斜面緑地など人が立ち入るのを、躊躇する状況から階段や歩行者通路の整備、壊れた遊具を自前で遊具を修理、評価委員会での改善指摘事項に対しても真摯に対応しており頑張っていると感じる。
- ・これまでの3年間とこれからの5年間の違い、何が出来るかという質問に対してもしっかりお答えいただいております、次の5年間で任せても良いと思う。

(委員)

- ・本日の意見について、仮に選定された場合、先方に伝えて頂きたいと思います。

(事務局)

- ・了解した。

以上。